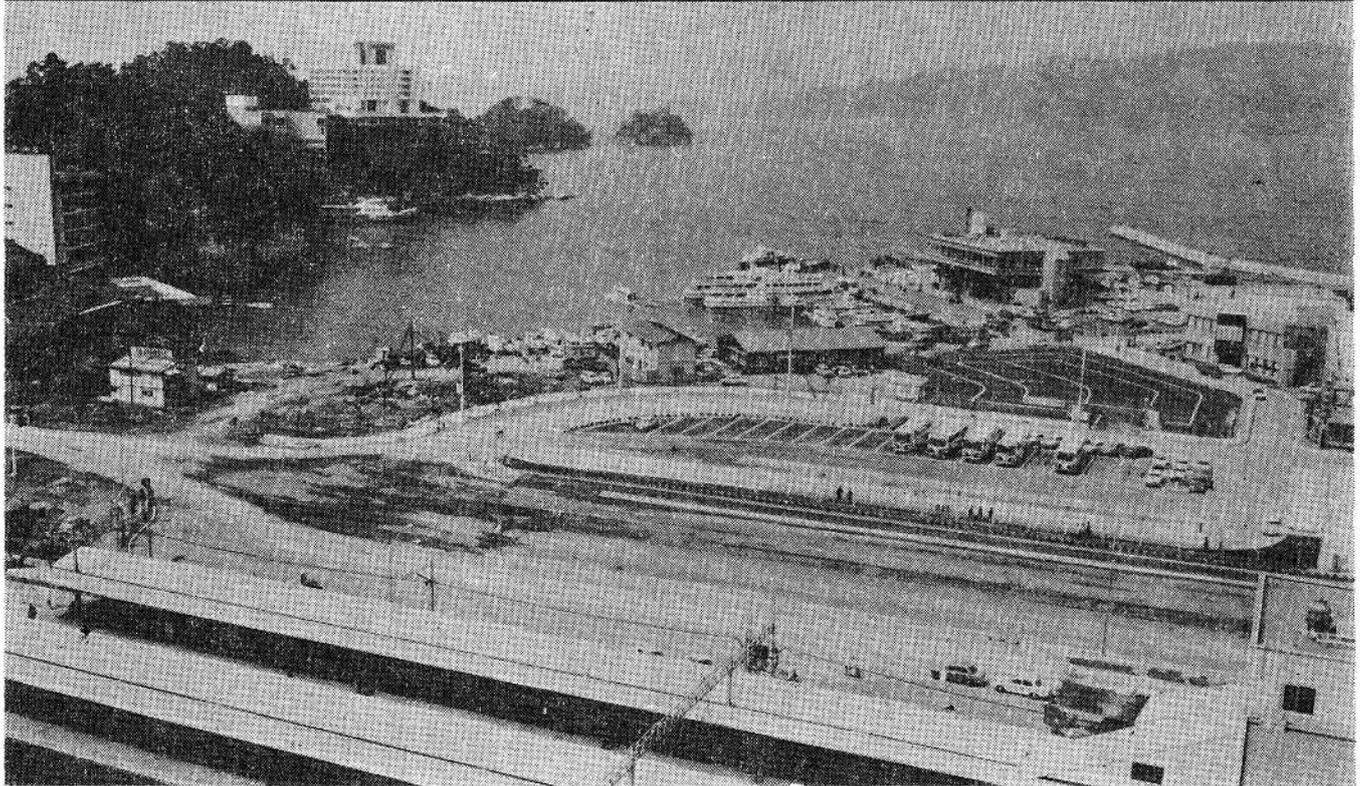




発行所  
 三重県鳥羽市池上町1の1  
 鳥羽商船高等専門学校内  
 鳥羽商船同窓会  
 電話 (05992) 5-3137  
 郵便番号 517  
 製作  
 神戸市生田区海岸通3(海岸ビル)  
 海交社  
 電話 (078) 331-2481~3番



新装なった<鳥羽新港> ㊤鳥羽港全影 ㊦鳥羽駅前のバスターミナル

世界の歴史をたずねて

会長 西島好夫



私

の海外旅行は、戦後だけでも十回以上で世界中のほとんどの国々を廻りつくした。

最近、私はまたトルコ、ギリシャ、アラブ、エジプト、スペイン、ポルトガルなどの神話と古い遺跡の多い国を訪ねた。

まずトルコのイスタンブール市にある、トプカピ宮博物館、ブルーモスクとサンタソフィヤ寺院で、五千年前の遺品の豪華なのに驚嘆し、ギリシャのアテネでは、二千年以上の歴史を秘めて、今は廢墟となっているパテオン神殿を見学、アゴラ、ベキナ、ビザンチン美術館ではさすがに神話と美術のギリシャを表徴し、解明している数々の陳列品に、全く魅せられた。

ア

ラブ、エジプトのカイロ市にあるエジプト博物館はまた、世界屈指のもので先史時代、古代中期、新王朝を経て、グレコ、ロマン朝にいたる、エジプト古美術の粹を集め

た殿堂で、彫刻、彫像、石棺など無数で極彩色の象形文字、絵文字などが特に人目を引いている。

三、五〇〇年前のツカンカーメン王の、九〇〇ポンドもある純金の棺を見て、当時の副葬品などとともに技術の精巧なのに驚き、美姫クレオパトラの首飾もこの博物館にあって面白く、さらに特別室のエジプト歴代王様のミイラ二十五体が完全な姿で、ガラスケースに収められ整然と並んでいるのも、まさに珍らしいものです。

ま

た、カイロ郊外のギゼーという田舎にあるピラミッドの中で、ケオプス王の墓といわれる最大のもは、二トン半の石を二三〇万個、高さ一四七米、底辺二四〇メートルの今日でも世界最大の建造物で、その前に立つて山のような大きさに、全く驚くよりほかはない。

このように、外国の大昔の遺跡や遺物の豪華にして雄大なものに接して、その当時の王様や権力者が如何に、栄華の限りをつくした生活をしていたかがうかがわれ、これらが現代文化史

上どんなに貴重な資料であるとしても、それらの精神を遠く追跡して行くと、必らず当時の人民をけだものの如く酷使したり、さんぎゃくな涙ぐましい数々の哀話や秘めごとを抱いていることを知り、何となく背すじに冷汗をおぼえ、心の底に嫌な思いが湧いて来ることを、どうしても押え切れないものがある。

こ

れに比べて、わが国の歴代天皇の遺された御物など拝観し、また諸大名の残したものを思い出すことは、たいていが極めて質素であったことを証明し、規模もさほど大きいものではない。

たまたま、有力な大名の生活用品や、大きいと思われる築城のあとを見ても、諸外国の何千年前もの遺物とは、およそ比べものにはない。私は、たび重ねての外国旅行で、諸外国の歴史に接し、日本の歴史に思いをよせ比べて見たいよいよその崇高な姿に、認識を一層新にし、悠久の昔から、日本の国づくりに、まごころこめてつくされたわが国民の先祖に、改めて感謝の念を深めるばかりである。

あやまった時代思想などにまどわされることなく、日本民族の誇りをさらに高め、輝かしいこの歴史を、万世の後までも伝えつくすことに微力をつくさねばならぬと、私は強く肝に銘じている。



# 本部だより

## 第四六年度総会

六月二十日正午より母校談話室で昭和四十六年度総会を開催しましたので報告いたします。

### 次第

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、学校長挨拶
- 四、自己紹介
- 五、議案審議
  - 1 昭和四五年度会務報告
  - 2 昭和四五年度会計報告
  - 3 会計監査報告
  - 4 役員改選
  - 5 本年度事業計画
  - 6 その他
- 六、各支部現状報告
- 七、閉会の辞

### 開会の辞

本年度の総会を計画いたしました処多数御参集下さいましてありがとうございます。現在正会員二二六九名のところ出席者六三名、委任状約四〇〇通ありますので、会則第十三条により総会は成立致します。よってただ今から昭和四六年度総会を開催致します。

次第書に従いまして、先ず最初に会長の御挨拶をお願いします。

### 会長挨拶

四十六年度の同窓会総会に当りまして、皆様には大変ご遠方のところ大勢お集り下さいまして有難うございます。この機会にお話したいことが二、三ございまして。去年の総会のときご病気で欠席されました三輪副会長は、去る八月二十九日に遂にお亡くなりになりました。謹んで皆様と共に哀悼の意を表したわけであります。またこの機会に心からお申いいたしたいと思っております。そこで副会長の後任として、東京支部から御推薦によりまして、中村栄三さんにお骨折して頂くことになりました。どうかよろしく願います。

次に今年の四月に前校長の小谷先生がご勇退になりました。小谷先生がご勇退になりました。谷川英一新校長をお迎えいたしました。谷川先生は北大のご出身で、長らく母校の教官としてお勤めになり、本校において願う前は水産学部長をされておりました。農学博士、理学博士の学位をお持ちになり、その方面での我が国での權威であられるわけでありまして。従

来この種の学校の校長には、海軍軍人か商船学校出身者と決っていたわけですが、今回は限られた分野からでなく、水産界から新校長をお迎えしたことは本校にとっても大変プラスになるものと信じております。文部省、農林省はもちろん、学術的にも企業の立場にもお知合いが多い方でありまして。恐らく躍進途上にあります母校の建設面で大変好都合と、同窓会はご就任をご歓迎申し上げますと共に先生に大きくご期待申し上げます次第であります。

次に皆様にお計いまたご相談申上げなければならぬと心配していることがございます。九十年前に近藤先生が私立として開校されて以来、町立、県立、国立と変遷して参りましたが、同窓会のあり方としては常に同歩調をとって参りました。鳥羽で学んだものはすべて同窓会に入ることとを前提として参りました。ところで他の学校では、我々は高等商船の出身だ、大学の出身だということです。つまりしなないものがあると思えます。本校におきましてはそういう気風は全くありませんが、若し他の学校でそういう気風があるとすれば、同窓会としてはこの機会に一本線を伸ばして行きたいと考えております。

機会有るごとに谷口副会長、落合教官を通じて、過去の栄光をもとに、将来に向けて大きく前進して行きたいことを学生諸君にお話願っているわけでありまして。同窓生を通じて同窓会の意義を浸透させたいわけでありまして。とくに落合君には同窓会本部の仕事をして頂きながら教官としても活躍して頂くよう全同窓生が望んでいるわけでありまして。そこで新校長先生にお願いするわけでありまして。他の学校ではすでに同窓生が助教となられて張切っておられることとあります。落合君は気象学では学会でもよく名の知られた熱心な研究者として活躍されておられます。

落合君を母校と同窓会のパイプ役になって欲しいという全同窓生の念願から、一日も早く昇進の道を開いて頂きたいとお願いする次第です。同窓生が立派に活躍できる場を与えられるんだという印象を学生諸君にもわかって頂きたいのであります。

次に我が国におきます海運界に対する考え方がずいぶんと違ってきたように思われます。船腹の増強に次ぐ増強で、高級船員の養成が国家の急務であると、教育課程の改変、養成人員の増加が叫ばれてきました。最近では船が大型化し、それに伴い自動化という問題がおこり、それほど人が要らなくなつたという考えが運輸省、文部省あたりに出てきたように思われます。私は船舶振興会の役員をいたしておりますが、海事思想というものがどうもあまりパツとした方法で広められていないように思われます。船舶振興会は「青い海」「緑の国土」というスローガン

のもとに、青少年を海にひきつけるため将来一千億の資金を投入することを決議いたしました。海運界に対する国の在り方、青少年に対する海事思想の普及の仕方についてそれぞれの立場から、非常に努力しているのであります。こうした国民の声が国家を上げきしてさらに船員教育の充実をはからなければなりません。鳥羽商船同窓会もこういった運動を推進しなければならぬと思っております。後輩諸君に対する責任というものを感じて、学校を見守って行きたいと思っております。それが国家に対する責任ともなるわけです。今後のご協力を心からお願いたします。



学校長挨拶

私こと四月一日付をもって小谷前校長の跡を承け、鳥羽商船高等専門学校校長に就任いたしました。三月三十一日までには北海道大学水産学部長ならびに大学院水産学研究所長を勤めておりました。北大では漁船に乗りこむ若人の育成にも努めてきましたが、本校に参りまして商船の船員を育成することになりました。船の大きさは違いますが、海の上で活躍する若人を教育することは同じであります。

ご承知のようにわが国の産業界の発達発展に伴い、商船の大きさも大となり、これを動かす技術も益々緻密にならざるを得ない状態となり、益々その技術の基礎となる知識が、必要となって来ております。しかもその造船数の増加に伴い高級船員を短期間に養成する必要にせまられ、商船高等専門学校が設けられたと理解しております。なお昔からいわれているように船の高級職員は民間の外交官ともいわれその教養が高くなければ外国に寄港したとき、その母国の国民の教養を計られることともなるのであります。このすぐれた技術と高い教養をもった高級船員を養成するのが本校の使命であります。私は過去三十二年間北海道大学水産学部において日本の水産業界、学界、官界を指導する人物を育成した経験と、若人と同じような情熱をもって、本校を立派な学校とし、立派な卒業生を出してゆくことを念願としていられるのであります。今後種々御世話になることと存じますのでよろしくお願い致します。

次に学校の現状について少しご報告いたします。学生数は航海学科百八十一名、機関学科二百八十名で全部で四百六十一名います。これら学生は全寮制にしたがい、高学年寮に五年、四年生が百二十七名、低学年寮に三年、二年、一年生がそれぞれ百六、百十七、百一十一名計三百三十四名が生活しています。

これら学生を教育するための教官は四十六名おり、事務系職員は七十七名という数字にのぼっています。高専になりましてその校舎の基準坪数もぐっと増加し、十萬二千四百五十四平方坪(約三万一千坪)、建物の坪数は一万九千六百六十二平方坪(五千九百五十八坪)となっております。一応その価格として十四億二、五三六万八千円が台帳に載っております。

最近整備された施設、設備についてお話し上げますと、施設としては七コース二五坪プールが四十五年度に完成しています。これが約一、二〇〇万円、設備として四十五年度に蒸気タービン(約一、九〇〇万円)、L・L装置(四八五万円)が完成しております。なお四十六年度にはレーダー・シュミレーター(約二、一五〇万円)が認められ、目下注文中であります。また四十六年度中に京浜地区への機関科実習生のための学生寮が認められ、四十七年三月までには京浜急行神奈川新町の近くに落成することになっております。また運動場整備と武道場(約一〇〇坪)の予算が認められ、これも四十七年三月までには完成の予定であります。

今後この環境整備とともに図書館、管理棟の増築を行いたく、また設備として機関トラブル・シュミレーターを要求しています。これらがうまく認められれば、本校も更にその施設、設備が充実することになります。

理想のからいえば一、二年は全寮制、三、四、五年生は希望入寮制というのがよいのでしようが、現在のところ種々の事情からそれもむづかしく、当分現状のまま、教育せざるを得ないし、そのため教官と学生とのコミュニケーションを頻繁にするため、クラブ活動を通じ、また出身地区懇親会のような組織をつくり、学生一人一人に教官の愛情を注いでいただくようなことを実施すべく計画中でございます。

学校の施設、設備の完備によって技術の向上をはかることはできますが、卒業してゆく学生の教養を高めるため、教官一同苦労しています。ご承知のように商船五校は一年々五年生の全寮制をしていますが、現代世相からいっても学生の気質からいっても、五年間の間、寮生活に緊張を強いるということはむづかしいことで、いろいろの悪弊が生じて困っています。

その一つの例は喫煙であります。四、五年生になりますと成年になつてくるものもあり、これらのうちあるものは喫煙の習慣をもっているものもあり、これが低学年生にも流行することあります。

ここで私、同窓会の皆さんに、寮生たちが寮内娯楽施設が少いため、とかく不善をなすこととなると思いますが、余暇に本を読むことを勧めたいと思いますが、図書費も少ないため読書も余り行われず、マンガをみるものが多いという状態では困ったことで、もし皆さんのところで読書のため買われれば多少に拘らず、本校の図書室に贈っていただきたいと存じます。

私も本校に赴任後直ちに本棚に埋もれている本を百冊ばかり寄贈いたしました。同窓の皆さま方から一冊ずつ送っていただいても学生が一冊ずつ読み、さらに順ぐりに回し読みすれば何百冊という本を読むことになります。学生の時代に本を読む習慣をつけることが教養を身につける第一義と考えられています。

先日も高専ができて満九年、一応その成果を調査のため、文部省と他の高専の先生方がみえられましたが、本校の学生が非常に規律正しくきびきびした挙動をしているとほめてゆかれましたが、教官のコミュニケーションによって僅かづつでも成果のあがることと存じています。教育というものは気の長い仕事であります。

【自己紹介】  
次に議案審議にはいる前に簡単に自己紹介をお願いします。出席者は次の通り。

△N科▽  
川原乙松、斎藤常三郎、江崎広治、竹内作夫、山崎嘉市、高橋武衛門、加藤重三郎、下川満、吉村武男、坂口政次郎、松本文吾、鎌田藤吉、岡崎武義、中村栄三、関口展生、深津薫、裕口輝治、竹内清磨、渡辺豊、押尾定夫、浅野和昭、西川慶堂、末崎弘、中西勲、前野喜治郎、桜田保、落合弘明、木学忠雄、森島鶴雄、沖田彬、岩谷富男、竹内茂七、内野栄、中沢昌信、梅崎延夫

△E科▽  
天田稔、駒田定生、別府正、中村義夫、伊東博文、谷口英雄、細川英一、井上豊治、富岡巳義、赤塚季孝、中頭武、後藤留吉、西島好

夫、堤好造、加藤清、駒田秀男、安田太津造、加藤卓夫、山下三樹夫、今高光雄、船木照生、伊藤好夫、石原久治、上村賢治、堀三矢之助、伊藤康彦、須永博、後藤正一、外に福永芳雄、和田春生氏より祝電あり。

### 議案審議

#### 一 号議案

#### 四五年年度会務報告

一、昨年六月二十八日の談話室で総会を開催しました。

二、八月九日に鳥羽市簡易保険保養センターで伊勢志摩支部の発会式を行いました。

三、八月二十九日に副会長三輪忠平氏が亡くなられたので三十一日の葬儀に副会長谷口が会長代理として参列しました。

四、十月一日会報一九七〇年号を二〇〇部作成して一九〇八通だけ会員の皆さんに発送しました。

五、十一月七日名鳥会総会の案内を受けて本部から谷口が参加しました。

六、十二月五日鳥酒会総会の案内を受けて谷口が参加しました。

七、新会員名簿が一年がかりで出来たので十二月二十一日付でそれぞれ発送しました。

#### 二 号議案

#### 四十五年年度会計報告

別添報告書により逐一説明。

#### 三 号議案

#### 会計監査報告

竹内監事より監査結果の報告があり、一同異議なく承認。

#### 四 号議案

#### 役員改選

本会役員の任期は二年となっておりますので改選をお願いいたします。前以って各支部より候補者を推薦して貰ってありますので、本会議にはいる前に理事会を開いて検討した結果次のような顔ぶれになりました。

#### 〔本部〕

竹内作夫、谷口英雄、竹内清磨、駒田秀男、西島好夫、西川慶堂、落合弘明、竹内茂七

#### 〔函館〕

永谷茂

#### 〔京浜〕

江崎広治、中村栄三、筒井堅一、久保文計、浅野和昭、辻裕

#### 〔名古屋〕

加藤重三郎、三浦学

#### 〔四日市〕

細川英一、佐波義三、末崎弘

#### 〔大阪〕

吉村武男、小原博

#### 〔神戸〕

岡崎武義、三宅宮雄、押尾定夫

前野嘉治郎、菅恵治

#### 〔関門〕

福永芳雄

なお会長、副会長は理事の互選となっておりますので、相談の結果次のようになりましたから御承認下さい。

会長 西島好夫

副会長 谷口英雄、中村栄三、竹内清磨

以上いずれも異議なく承認。

#### 五 号議案

#### 本年度事業計画

一、会報一九七一年号を十月に発行の予定であります。

二、昨年より海事広報主催で全国商船高専のボートレースを瀬戸内で挙行することになり、全船協の要請により二五〇〇〇円寄付したが、本年も要請があれ

ば寄付したいと思う。

三、全国高専校体育大会を毎年各地で行なっているが、本年は母校が当番校になり、伊勢で行なうことになっているので二〇万円寄付したいと思う。

四、母校の環境整備が終ると落成祝賀会が挙行されるので、本会として三〇万円寄付したいと思う。

五、鳥羽市安楽島に船員保険寮ができるについて、昨年京浜支部より時計を寄付してはとの申入れがあったが、既に時計は備付けてあるので、管理人の意見を聞いた上三万円以内で適当なもの

を寄付したいと思う。

六、天涯孤独で老齢のため、養護老人ホームに収容されている同窓が一名あるが、見舞金として五〇〇〇円贈りたいと思う。

以上いずれも異議なく承認。

### 各支部現状報告

#### 京浜支部（江崎）

過去一年間の経過を報告しました。現在会員は一九〇名ほどありまして、船会社ばかりでなく各方面で活躍しております。昨年八月二十八日には同窓の経営して

います「今佐」におきまして、支部の総会と和田春生氏の衆議院議員当選祝賀会をかねて開催いたしました。

その席で昨年母校で行なわれました、慰霊碑の除幕式および同窓会総会の模様を中村栄三氏が報告しました。和田氏からは選挙に際してのお礼がありました。

昨年の十二月一〇日に横浜の中華料理店で忘年会を開催しました。五十六名の参加者がありまして非常に盛会でした。今年度の支部の総会はもう少し涼しくな

らやろうということになっていま

す。三輪忠平氏が亡くなりまして非常に残念であります。葬儀には本部から谷口副会長が参列されました。三輪君の後任としては支部から中村栄三氏を推せん

しました。

次に戦没船員の慰霊碑が観音崎灯台の近くに建設されました。皇太子殿下ご夫妻の手で除幕されました。支部から私を始めとして三名が参列しました。

名古屋支部（加藤）

昨年の支部総会は十一月七日に今池の東天閣で行ないまして、本

部からは谷口副会長が参加されました。富岡校長、松永先生も参加していただきました大変盛会でした。私は太平洋沿海フェリーにも関係しておりますが、フェリーポートの建造も進んでおります。どうかご利用下さいますようお願いいたします。

四日市支部（末崎）

十二月五日に谷口副会長を迎えて支部の総会を行いました。その際鳥羽で一度マージャン大会をやろうということになりまして、本部の総会の前日にやろうということに決りまして、昨夜安楽島の小湧園で行なわれました。

本年は十一月の中旬に総会をやりたいと考えております。四日市は公害の町ですが、どうぞお立寄り下さい。

神戸支部（押尾）

現在一五〇名ほどの会員がおります。各方面で活躍され大変心強く思っております。先月、五月の十一日に支部の総会を開きまして四〇名余りが参加されました。その席で支部役員の選出を行いました。今後はできる限り支部内の連絡をとり、支部の活動を一層活発にしようとして決意いたしました。

長時間に亘りましてご審議をいただきまして有難うございました。これをもちまして閉会といたします。

今からマイクパスが迎えに来

### 閉会の辞

長時間に亘りましてご審議をいただきまして有難うございました。これをもちまして閉会といたします。

昭和45年度決算

(昭和 45. 4. 1)  
(昭和 46. 3. 31)

摘 要	収 入	支 出	残 高
繰越金			1,222,509
入会金 (76名)	38,000		
会費 (591名)	1,554,500		
名簿売上代 (639名)	319,500		
寄付金 (河合3000 坂口3000) E卒5350	11,350		
預金利息	38,790		
ネクタイピン売上利益金	14,805		
会報印刷及び発送費 (2300)		191,460	
一般印刷費 (案内状・振替用紙・封筒)		25,000	
名簿印刷及び発送費 (2000)		844,000	
通 信 費		43,398	
寄付金		115,000	
全高専体 20,000 鳥羽丸 50,000 文化祭 10,000 サッカー部 10,000 瀬戸内ボートレース 25,000			
総会費 懇親会補助		63,085	
郵便振替料		22,310	
役員旅費		79,220	
謝儀		13,000	
接待		17,670	
業務用品		1,590	
事務手当		264,000	
雑費		12,795	
合 計	1,976,945	1,709,908	1,489,646

基金の部決算 (46. 3. 31)

摘 要	収 入	支 出	残 高
繰越金			1,887,545
預金利息	86,001		
合 計	86,001	0	1,973,546

財産目録 (46. 3. 31)

項 目	金 高	内 訳	金 高
一般会計	1,489,546	郵便振替	57,643
基金	1,973,546	貸付信託(安田)	1,170,000
		金銭信託( " )	289,022
		定期預金(相互)	1,018,927
		普通預金( " )	604,080
		現品(ネクタイピン)	288,000
		現金	35,420
	3,463,092		3,463,092

ておりますので、懇親会場へご案内申し上げます。どうもご苦労さまでございました。

懇親会開催

閉会の後ホテル姫島で懇親会を催し、母校からは谷川校長、村野教務主事、小島事務部長のご参加もいただいて老年、中年、壮年それぞれに懐旧談やら、母校の発展振りやらに花を咲かせ、中には奥様も同伴されて、興趣を添えていただいた方もありまして、みな喜びのうちに六時頃散会いたしました。

今回は仕事の都合で総会には出席できません。席できないにも拘らず、前夜から来鳥されて、クラス会や地区会に出席された方々も十数名ありまして、本部として有難くお礼申し上げます。

【受 彰 者】  
 昨年九月以後に受彰された同窓は次の通り  
 ●叙位叙勲  
 T 4 N 福永芳雄 勲五等双光旭日章  
 T 4 E 神戸友三 勲六等瑞宝章  
 ●大臣表彰  
 S 5 E 井村茂  
 S 8 E 丸山茂  
 S 10 E 納富忠男  
 ◎海運局長表彰  
 T 9 N 高橋武衛門

静清地方居住者に連絡  
 S 6 E 寺田実生  
 S 7 E 梶原了  
 S 8 E 大鳥居健次  
 S 8 E 富島唯一  
 S 12 E 岩並義雄

静岡、清水地方にも十数名の同窓が居住しておられますが、本年一月に始めて同地区での同窓会が開催された由。S 19 E 日下昭氏より報告があり、今後は年一回くらいは会合の機会をもちたいから、本誌を通じて同地区の皆さんに呼びかけて欲しいとのことから、該当者は住所、氏名、電話番号等を書き下しご連絡して下さい。

連絡先  
 静岡市丸子二六三一 一角東運  
 輪柳内 松浦幹  
 電(〇五四二)五九一五二六六  
 本年一月五日静岡市常盤町二丁目料亭月治に参集した方々は次の通りです。

- N 18 鈴木英一、N 19 桜田保、N 19 青島隆三、N 19 中島好康、N 19 松浦幹、N 21 西村隆治、E 19 剣持光雄、E 19 日下昭、E 22 鈴木馨、E 22 小林三郎



# 地方便り



函館における同窓会はほとんどの会員が青函船舶鉄道管理局の国鉄連絡船に勤務しており勤務の都合上全員が一同に会することは至難ですが、しかし何かあれば号令下一部の会員は集合できます。最近集まったのは三月一日に奥田邦壮氏が退職されるので、送別会を開き、久方ぶりに友好を温めました。

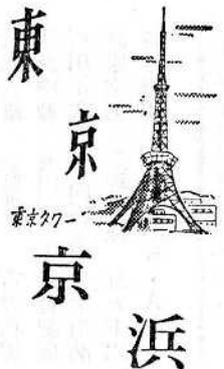
本年は冷害と予想されて春以来気候の異変で、五月のゴールデンウィークの降雪や、冷涼な日が続きました。それに七月三日の「ばんだい」号事故で函館が一躍大きくクローズアップされました。われわれ大部分の連絡船従事員は洞爺丸事故の経験を持っております。再び重大事故を起すまじと心に誓い、毎日運航業務にはげんでおります。

ニクソン、ショックで昭和元禄に冷水をあびせられた形ですが、本年の北海道ブームはすさまじく

史上最高の夏輸送となり、レジャー客とお盆の帰省客の殺到を日夜さばきました。もう暑さの峠はとつとつ越えて残暑の季節をオーバ―して一気に当地は秋となるでしょう。今おたよりしている九月二日は最低気温一四度、室内寒暖計は一八度位の日中です。夏の多客期が終了した所で同窓生一同相集まって懇親会を開催すべく予定しております。

青函連絡船をご利用される皆様乗船の際は声をかけて下さい誰かが乗船しておるでしょう。

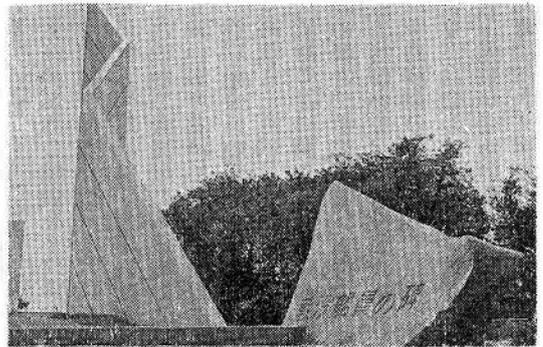
(四六・九・二永谷茂)



## 戦没船員の碑竣工

神奈川県観音崎灯台西方の台地に昭和四十五年六月着工し、本年三月に完成した戦没船員の碑の除幕式および追悼式が五月六日午前十時半から約一時間にわたり厳かに行なわれた。

当日はあいにくの雨天にもかかわらず



ならず、皇太子ご夫妻をはじめ遺族・政府・海軍関係の人が多数列席した。

この碑には昭和十二年以降第二次世界大戦までに戦没した六万余名の商船・漁船などの乗組員の名簿が納められている。(母校の同窓生も多数含まれている)

なお、この事業は昭和四十一年頃から財団法人戦没船員の碑建立会が中心になって募金(総額一億四千万円)等を進め遂に完成したものである。

募金は昭和四十六年十二月末まで期限が延長されて現在も受け付けている。

**寄付募集要領**

一、募金額一口百円とし、何口でも可

二、寄付申込先

東京都中央区新川二丁目二番地  
日本海事広報協会内 船没船員

の碑建立会 〒一〇四  
TEL〇三―五五二―五〇三一

三、送付方法

現金または郵便振替口座(東京三一九八五番)にて建立会あて送金

横浜地区同窓生の集い

八月二十一日に恒例の京浜錦浦会を新宿の今佐で行なったが出席率が悪く三十四名であった。一度横浜でもとというような声があったので、有志の集りということでの瀬も押し迫った去る十二月十日(金) 横浜市の中華街、華勝楼で午後七時から忘年会も兼ね、会

費二、〇〇〇円で行なわれた。六〇名近い出席者があって、盛会のうちに午後九時散会した。

この会合は予想として三〜四〇名集まれば良いと考えていたが、昭和二十九年卒業の若手の皆さん方の尽力で六〇名近くも集まり一部屋に入りきれなくて別室も設けるといふ幹事も嬉しい悲鳴をあげてしまった。

出席者の八〇%は昭和二十、三十年代の卒業生で四〇才以上は十名程度で京浜地区では始めて、若い人が主力の会合で、こんなにも沢山いたのかとびっくりするような活気に満ちたもので、大変にぎやかな集りであった。

また、初参加の人も多かったようである。なお、和田衆議院議員も臨時国会開会中で多忙のところを出席された。



中村副会長、久保理事、江崎支部長が所用で欠席したため、会は浅野理事の司会により進められ、筒井理事の挨拶に始まり、和田衆議院議員より選挙に対する応援の御礼の挨拶と最近の国会の報告があった。

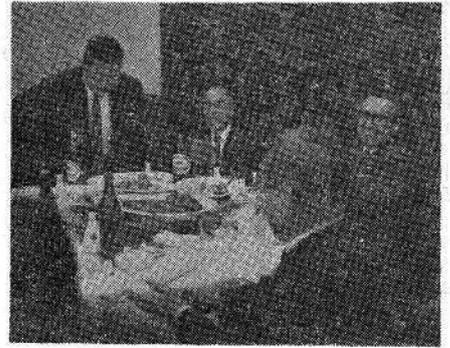
続いて、浅野理事より同窓会関係の諸報告が行なわれた。

1、同窓会の副会長に岡田商船の中村事務部長が選任されたこと。

2、同窓会の名簿が近く発行されること

3、母校の元機関科教官であった秋本義雄氏が死亡したこと。

4、三浦半島の観音崎に建立中の



戦没船員の碑の募金のこと。

続いて懇親会に移り、最年長者の家里塚夫氏の音頭で乾杯が行なわれ、中途で各自の自己紹介等もあって、名残り尽きない同窓の集いも、旧校歌・寮歌の合唱、最後に筒井理事の音頭で万歳を三唱し来年の再会を約して家路についた。

今回の会合で感じた点は、若手の出席者が多かったこと。東京在住の参加者も十名もあったことである。

今後は、同窓会の理事には三十代からも起用し、会合を開くにも若手の意見をよく聞いて進める必要性を痛感した。百名は集まるのではないかと思う。

- 出席者氏名(順不同・敬称略)
- 家里塚夫 江尻光政 和田春生
  - 筒井堅一 岡島利夫 諏訪致道
  - 浅野和昭 藤崎金太郎 金子昭
  - 品川昭雄 川村喜一郎 田村辰夫
  - 深町久 上松親男 青山周弥
  - 大谷繁夫 松井修 磯崎昭

- 梅田四郎 宗田寛 浜島重和
- 木下選 宇田川友也 島村秀夫
- 福山二郎 登内茂 野田芳樹
- 三沢茂明 藤井国男 林郁男
- 岩田和雄 塚越健一 斉藤陽雄
- 山口義治 真田勝平 江頭昭雄
- 金沢寛治 中村寿男 野村義男
- 河西豊彦 都筑隆夫 須貝良治
- 関部威 三山信雄 石崎清之
- 長内秀雄 岡部勉 吉野利男
- 辻野園輔 菱田司 上野登紀郎
- 石川正次郎 門倉毅 上山浩
- 河原幸男 堂坂美種 計五十六名(昭和45・12・23K・A記)

### 同窓会の会費について

毎年同窓会の会費を見ていて気が付くことですが、会費を納入する人は会員の中の四分の一乃至三分の一度の人で残りの会員は未納だといふ。

しかも、未納の人にも会報、名簿等は送付されているという。会費は納入しないで恩恵だけをうけている人はどういふ気持ちなんだろう。

乞食でもしていない限り年間一〇〇〇円程度の会費は納入できる筈である。学校を優秀な成績で卒業した人より、むしろ問題になつた人の方が会費の納入率はよいと聞、また愛校心も強いという。会費は納入しないが、会報や名簿が送られてくると喜んでくれる人がいたら全く情けない話である。この機会に未納者の猛省をうながしたい。(X生記)

### 名古屋



同窓会の皆様には、ますます御健康で海上に陸上に御活躍されていふことと存じます。

昭和四十六年も晩秋の候と相成り山の紅葉も日一日と深さを増してまいりました。昨年十一月七日土曜日午後五時三〇分より、恒例の名鳥会の総会を名古屋市内東繁華街の今池町角東天閣(中華料理)で開催致しました。

### 四日市

恒例の鳥酒会総会を十二月五日市内の料亭柿安で行いました。幸に好天に恵まれ、土曜日であったためか当会発足以来最高の二十七名の出席者があり、かつ本部より谷口副会長の参加もあって盛会でありました。

最初に谷口副会長より同窓会総会の報告、学校および学生の近況報告等があり、次に役員改選を行ない鳥酒会の会長として、発足時より、当会のお世話をいただいた大川先輩が老令の故をもって細川先輩にバトンタッチされました。続いて懇親会に移り、同窓生の動

同窓会本部より谷口先生、来賓として松永先生と富岡先生をお招きして、名鳥会々長加藤重三郎氏の挨拶に続き谷口先生より本部と学校の近況報告を受けて、続いて当日参加の同窓生二十三名の自己紹介に移り交誼を深めて会長の音頭で乾杯して、名鳥会のますます発展を祈り、以後盃が重なり互に懐しい昔の学校時代のこと、厳しかった寮生活の話題に花を咲かせ一方松永先生の長寿健康法(命泉丸)を聞きながら、時間の来るのを忘れて、非常に愉快地過ぎました。

午後八時頃に会計報告を終えて、全員で校歌および寮歌を合唱し鳥羽商船の意気を高昇して、母

校と名鳥会のますます発展することを祈って万才を三唱して閉会となりました。

- 名鳥会々員(愛知・岐阜県) 一五五名 当日の出席者二十六名
- 同窓会本部谷口先生、来賓富岡・松永先生
- 加藤重三郎 盛林巴吉 千藤孝三
  - 田宮信夫 後藤留吉 三浦学
  - 関口守男 梅山三郎(新)
  - 伊藤茂雄 伊藤操(新) 嶋岡修
  - 田中弘利 西川義徳 安田敬(新)
  - 齊藤宗正 上野久滋(新)
  - 野村弥 山本茂 加藤喜作
  - 鈴木邦彦 河村和美 堀田力也
  - 服部一孝(新)
- (鳥岡記)

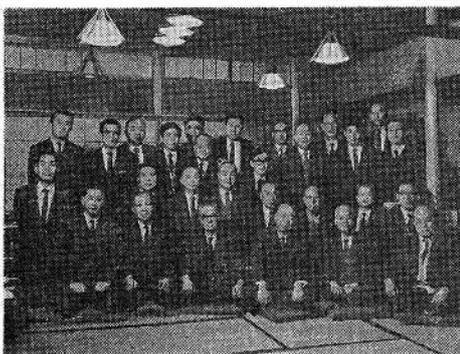
静、学生時代の想い出等を語りあひ旧交を温め和やかな一刻を過ぎました。

最後に校歌、寮歌を斉唱し、来年の再会を約し散会した。出席者並びに新役員は次のとおりです。

#### △出席者▽

- 大川延一 別府 正 前葉弘文
  - 細川英一 赤塚秀孝 堀出政三
  - 杉浦俊三 巖尾敬弘 上野篤夫
  - 安田大津造 佐波義三 加藤卓夫
  - 船木照生 竹岡四郎 末崎 弘
  - 松岡万次郎 湯川昭治 橋川八郎
  - 高野富美男 中野清文 加藤 昇
  - 沖田 彬 安田 博 片山勝則
  - 伊藤康彦 中沢昌信 石垣三郎
  - 本部 谷口英雄
- △役員▽
- 会長 細川英一

- 副会長 前葉弘文
  - 理事 佐波義三
  - 西川敏夫
  - 末崎 弘
  - 中野清文
- (S・21N中野清文記)





生を織りませた熱気のもったお話し、はたまた中堅層の定打ち「焼めし坂」の一席と続く、各地交らぬ……鳥羽同窓会風景……を繰り展げながら、旧校歌、寮歌の合唱へと……。

午後九時、会はまだまだ語り足りない、呑み足りないムードの中に、またの再会を約し散会いたしました。

五月十七日午後六時より、神戸三宮駅前のレストラン「スカイサントリーホール」で、本年度の支部同窓会（神戸鳥会）が開催されました。

同店売りのもの、呑み放題、喰い放題のバイキング料理も、そのセルフサービス形式と味の点では、十分な満足は得られなかった？かもしれないが、……ともあれ出席者三十七名という、久方ぶりの盛況。――

老は明治四十年代卒業の加藤、石垣大先輩から、若きは昭和三十八年の卒業生井上君（といっても、二児のパパですが……）まで、親子三代にわたるほどの幅広い年代層、さすがは創立九十周年の鳥羽商船の歴史と厚みを感じさせました。そして、陸勤の在神船会社の方々、あるいはすでに船から足を洗った四十台〜五十台の人たちを中心に、終始なごやかな雰囲気の中で、自己紹介、寮生活の思い出話し、同窓の消息等を語り合い旧交を温めました。一生ビールのジョッキに酔が廻って、大先輩諸兄のさまざま珍しいご経験や、人

そのようななかで、一寸寂しく感ぜられましたのは、どうしても潮の香粉々たる現役諸兄の出席が得られなかったことです。商船学校という宿命では、やむをえないことだと思いますが、折よく入港時その他、ご都合の許す限り次回には何とぞご出席くださいますようお願いしておきます。

（菅・井上記）

当日の総会で、支部役員が次の通り改選されました。

押尾 定夫 支部長 乾汽船  
前野嘉治郎 副支部長 協成汽船  
岡崎 武義 全日本船舶職員協会  
三宅 宮雄 松岡汽船  
西山 誠作 山下新日本汽船  
森本 滝生 玉井商船  
山本 醇平 住友倉庫神戸支店  
東瓜 佐七 協成汽船  
長谷川好道 ハーパワッチ  
田中 哲夫 日東運輸  
菅 恵治 海交社  
齊藤 三雄 近畿港運  
井上 信也 泉和海運

当日の出席者（ABC順）  
長谷川好道 S 21 N 浜繁 S 23 N

昭和二十五年前後、本科卒業の諸兄へ

大方の諸兄にはご一別来、ふた昔、ますますご活躍のことと思います。

ところで、一寸、寂しいニュースをお伝えいたします。――機関科卒業の横田清策君が、本年二月七日、神戸の神港病院で肺ガンのため亡くなりました。病床一年、満四十才をひかえて、七才と三才の坊やを残して、その長男坊主の4月の入学式を待たずに……。幸い、奥さんは気丈夫に頑張っておられました。何かの機会がありましたら、慰め、はげましてあげてください。

（S 25 E 菅生）

昭和二十五年前後、本科卒業の諸兄へ

大方の諸兄にはご一別来、ふた昔、ますますご活躍のことと思います。

ところで、一寸、寂しいニュースをお伝えいたします。――機関科卒業の横田清策君が、本年二月七日、神戸の神港病院で肺ガンのため亡くなりました。病床一年、満四十才をひかえて、七才と三才の坊やを残して、その長男坊主の4月の入学式を待たずに……。幸い、奥さんは気丈夫に頑張っておられました。何かの機会がありましたら、慰め、はげましてあげてください。

（S 25 E 菅生）

伊勢・志摩

昨年八月に伊勢・志摩支部が発足しましてからすでに一年経ちました。今年度の総会は秋に予定しています。

☆西島好夫同窓会長伊勢市長選挙に立候補

三重県会議長を歴任された西島好夫同窓会長は、四月に行なわれた県会議員選挙には後進に道をゆずられて立候補されませんでした。

そして地元に対しての最後の御奉公という固い決意から、来年春に行なわれます伊勢市長選挙に立候補を表明されました。支部いたしましたしは全力をあげて応援いたしますからよろしく御声援をお願いいたします。

☆武内清磨同窓会副会長市議会議員当選

先に行なわれた統一地方選挙で、武内清磨氏が鳥羽の市議会議員に当選されました。同氏はすでに市会議長を歴任されており、同窓会副会長が地元の市会議員として活躍されますことは大変心強い限りです。

☆玉置蔵機関長海上復帰

かりふおるにや丸沈没の際重傷を負われ、長らく入院加療中であつた玉置蔵機関長は、自宅静養後元気を回復されて海上に復帰されました。今後の一層の御活躍をお祈りします。

☆鳥羽の近況

国際海洋観光都市として世界中からの観光客を集めている鳥羽も最近ではあまりの発展で昔の想かげは全く無くなった感じがします。鳥羽駅裏を埋立てて造成された新港一帯もようやく完成しましたが、（表紙参照）佐多浜はなくなつてしまいました。海はあつても浜がないといったのが近況で、ホテルや旅館はプールが造られている有様です。学校前の池の浦も大腸菌が非常に多いということで、母校でも学生の水泳を禁止した次第です。あまりに観光客が多いのも自然を考えるときふと考えさせられます。しかしその反面鳥羽が飛躍的に発展したことを考えれば多少のことは目をつむらなければという人の気持もわかる今日この頃です。

（西川落合記）



# 学校だより

同窓生の皆様、先号以来の学校の様子をお知らせいたします。

☆専攻科開講式

十月五日、商船高校最後の専攻科生を迎えて開講式が行われました。なお十二日から四日間船会社による入社説明会が行われ、全員就職が内定しました。

☆海学祭

恒例の海学祭が十月三十一日、十一月一日の両日行われました。校内を解放して、趣向をこらした展示場やエレキバンド演奏、おどろき、屋台などに參觀者を案内いたしました。同窓会からの多額の援助を頂きました。

☆朝熊山麓マラソン大会

十二月三日寒風について耐寒マ

ラソン大会が行われました。内宮外苑の県立総合グラウンド前をスタートして、朝熊部落、堅神を経て本校に至る十二キロのコースを参加者全員完走しました。

卒業式 商船高校最後の卒業式が三月六日に行われました。同窓会からは西島同窓会長が外遊中で、谷口副会長、全日本船舶職員協会からは吉村理事がお出で下さいました。なお三月三十一日限りで商船高等学校は廃校となりました。

☆入学式

四月十二日航海科三九名、機関科七二名の新入生が入学いたしました。三重県、愛知県がそれぞれ二名ずつと東海地方や阪神地方の出身者が多くなりました。

☆オリエンテーション 三年生および新入生のオリエンテーションが行われました。三年生は四月十二、十三日の両日、賢鳥ロッジでまた新入生は五月十一十二日の両日神宮会館で、学生関係の指導教職員十数名とともに外来講師による文化講演をはじめとするしつけ教育が実施されました。

☆学校だより発刊

学校と父兄を結ぶ機関紙として今度「学校だより」が発刊されます。

○七八―三九一―二六八六

振替口座  
神戸二三七二二番  
郵便番号 六五〇  
会長 小山 亮

## 全日本船舶職員協会

(旧十一会) に入会しましょう

東京支部

東京都千代田区丸の内一の八の二

第一鉄鋼ビル

電話 二一六―五五五

主な業績

- 1、海技試験制度の改革
- 2、練習船日本丸・海王丸の建造
- 3、地方商船学校出身者は乙種免状でよいとする格下げ問題の粉碎
- 4、地方商船学校の席上課程を一年延長し、無試験で甲二免状を受有できるようにした。
- 5、教科書に船長、機関長科目を挿入させ地方商船学校も船舶職員

- 6、サンドウィッチ・システム教育制度の確立
- 7、高等商船別科の創設(戦前)
- 8、特別高等海員養成所の設置
- 9、海技専門学院(現海技大学)の設置(戦後)
- 10、県立商船学校の国立移管(文部省)の実現
- 11、戦時中、運輸省に移管された商船学校を教育本来の姿に戻すため、再び文部省直轄の商船高等学校として存続させたこと。

- 12、海難防止の研究
  - 13、海軍関係技術制度の研究
  - 14、帆船練習船の建造を粉碎し青雲丸を実現させた。
- (全日本船舶職員協会)

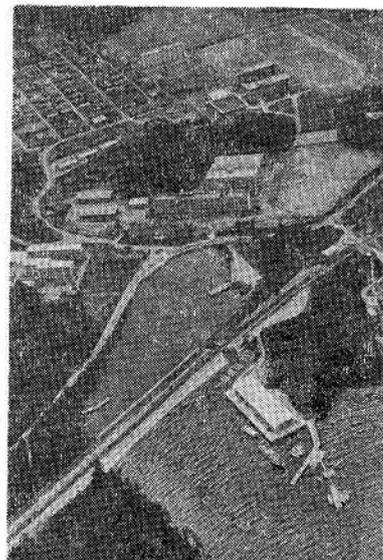


☆高専体育大会 本校が当番校となって、高専の体育大会が七月十八日伊勢市の県営陸上競技場を主会場として開催されました。職員、生徒全員が参加いたしました。同窓会からは多額の御援助を頂きました。厚く御礼申し上げます。

☆父兄会 低学年を対象とした父兄会が今年も東京、大阪、鳥羽の三会場で行われました。遠距離の父兄のため、東京、大阪には担任が出張して面接いたしております。

☆筆者(落合)のテレビ放送 八月十四日夜七時のNHKニュースの中で海の汚染と名古屋の暑さについての筆者の研究が紹介されました。大勢の同窓生から激励のお手紙を頂きまして有難うございます。紙上をかりて厚く御礼申し上げます。

(落合記)



(新装なった母校)

### 「謝恩に招いた」 「迎への或る日」

昭和三十八年十月十五日朝早く厚木飛行場に、米海軍特別機が一機ついた。一人の白髪のお紳士が背広服で夫人とともに降りてきたが、さらに軍用バスで立川飛行場に行き、ここで検疫通関を終えて特別室に現われた。

待ちうけていた十数人の日本人ならびに可愛い二人の少女から花束を受け、そして一同感謝と喜びを表わした歓迎の挨拶を受けて固い握手を交しあった。やがてこの一行の自動車は、東京に向けて急いだ。

このお紳士こそ、昭和二十一年一月二十二日、復員船江の島丸が東支那海で触雷して沈んだ時に、その船客四、二九六名と乗組員の六〇名の殆んど全員を救った米軍用船の「U.S.S. VREYARD」号の船長 JOHN L. O. ELLIOTT 氏であり、迎えて出迎えた日本人は謝恩のために組織された江の島丸会の役員の人々であった。

### 「江の島丸の沈没」

昭和二十一年、中支方面に第四次引揚船として、配船された日本郵船所属であった戦時標準船A型、重量トン数一万トンの江の島丸は、上海から四、二九六名のその過半数は、婦人、子供、老人という引揚邦人を乗せて、一月二十一日、上海港の飯田棧橋を出帆して、日本に向った。

船艙は、数段の客席が設けられていて、畳一枚について約一人位しか割り当てられていない。それに引揚げに際して、中国官憲から持ちかえりを許された各自三〇キロたらずの荷物を、身の廻わりにおけば、もはや身動きも自由でない。文字どおり一杯であった。

途中ウースンに仮泊して、翌あさ太陽が東の水平線を離れる頃に、江の島丸は錨をまいて、船首を揚子江の河口に向けて航海した。静かな天気であるが、一月の中支の空気はほかに冷めたかった。

### 或る船長の海軍葬

船客四二九六名 (復員船)

### 江の島丸東支那海に沈む

名鳥会会長

加藤 重三郎

揚子江を下って行く、江の島丸の船尾には、十数羽の灰色の鴨が追っていた。

戦禍で沈んだ船のラストが、二、三隻遙かに見えて、戦のあとがしのべられた。江口の浮標を過ぎ、船はようやく東支那海に乗り出して、米海軍の指示した航路をとって東に進んだ。

支那大陸も、すでに水平線の彼方に没して、びょうぼうたる海原には、さしたる波もない。遙か南方には舟山列島が浮いて見えた。浮流機雷にあたらぬように、マ

ストと船首には、嚴重な見張員が立っていた。海面を羽ばたく鴨や小魚をおって水面をゆく、いるかの背びれも見逃すことはなかった。多ぜいの船客は甲板に出て、新鮮な空気を吸っていたし、また厨房室には、夕食の調理に忙そがい人でとりこんでいた。

突然！午後三時五十分、ズドン！と船尾の船底に大爆発が起きた。千トンもある大ハンマーで、船底を打たれたように、船は上下に大きく揺れた。

無線電信のアンテナは切れ飛び S・O・S はうてない。機関室からは、ものすごい蒸気が吹きあげ汽笛は鳴り放し、エンジンも舵も損傷して運航は全く止ってしまった。沈没は最早時間の問題であった。

「船客総員は上甲板へ上れ!!」

ものすごい阿鼻叫喚の中を、引揚者団長であった高津宏さんは、船橋に飛んできて、私の指示を聞いて、船客一同に伝えるために飛んで行った。船橋から見おろすデッキの上は、人・人・人と四、二九六名の船客で山盛りいっぱい全く立錐の余地もなかった。

その時、江の島丸より約一哩半ほど後方より統航していた米軍用船プレバード号は、この爆発を彼自身が触雷したほど、激しく感じ江の島丸の状況を見て、全速力で約百米位に近寄って来て、お互のブリッチが並ぶようになると同母

の船長は、メガフォンを口にしていった。

「貴船は、どの位い浮いてるか」

私は、これにこたえて、メガフォンのどが裂けるように叫んだ。

「一、二時間だ、全航客を移乗さすため直ぐ貴船を江の島丸に横づけして呉れ」ブ号船長は O・K と声高くこたえて、沈みつつある江の島丸に見事横付けした。

両船の前面と、後部は適当なロープでしばりつけた。万一の場合には、いつでもロープを切断出来るように、それぞれ船員に斧をもたせて、そこに立たせていた。

ブ号は、五千トン位の船か？ 両船の舷の高さは二メートルほどの高低差があつて、またいろいろの突起物が出ていて、たがいに密着が出来ない。それに二メートル位は離れていて、すぐには飛び移れない。女、子供を先に移乗させねばならないが、私は二、三十名の若者を、繩梯子を下ろしてさきに飛び乗らせた。

この有様を見ていたブ号では、女・子供を無視して、強いものが先に乗ると誤認したのであろう。制止の意味で警備兵は機関銃を二、三十発空に向けて発射した。

ブ号船長も、後になつてよく諒解してくれたが、このときはまことに止むを得ないことであつた。これ等の若者の手助けで、移乗は始められたが、だんだんと江の島丸は船尾から沈んで、両船の甲板

が水平になった時は、待機させていた船員に十数枚の船口板を外させて、両船の間に渡して、船客、船員とも協力して、必死の大移乗を行なった。

この間二十五分。この移乗が終わろうとした時に、江の島丸はとどろく音とともに急に沈み始めた。この瞬間に、ブ号は両船が離れないようにしぼっていったロープを立ち切って離れさせた。まだ残っていた船客二、三十人と、残った船員は何れも船首の方へ避難した。

そして『船長は最後』の鉄則の下に、独り船橋にとどまっていた私は、当然船と運命を共にする状態となった。気がついて見れば、私の足もとには波が洗っていた。半時間足らずの間に、四千数百人の人が、移乗が出来て助かったのだ。

船は船尾が海底につくと、ブリッチの一部と船首を海面上に出して、約三十度位の角度で沈没が止まった。江の島丸を離れたブ号は約四千メートル位のところに投錨した。

移乗の時に、数人の船客は、海中に落ちて二、三人はロープで引き揚げたが、それを救おうとして江の島丸から下ろした救命艇は、風潮に流されて、遂に見失ってしまった。日は暮れ、風は出てくる寒さは一段と厳しくなってきた。ブ号より降して派遣された内火艇と、筏によって数回にわたって、残った船客と、船員は救けられ

た。しかし一隻の筏は、曳索が切れて、これも船客を乗せたまま見失ってしまった。

午後八時過ぎ、最後に救けられて私がブリッチを去って、間もなく江の島丸は、海中に姿を消した。ブ号の繩梯子を昇って同号の甲板に立った私は、エリオット船長の手を固く握りしめた。ブ号は直ちに、錨を上げて再び上海に引返した。

同夜半に、私はエリオット船長から行方不明になっていた江の島丸救命艇とブ号の筏は、ブ号の発信した江の島丸遭難の無電によって、かけつけた米軍上陸用舟艇LST一〇一三号によって、何れも発見され船客も収容されて、北支の塘沽港に向った旨知らされて胸をなでおろした。

ブ号船内で、一人の赤ちゃんがいつの間にか、お母さんの背中で息を引きとったが、また一婦人が急に産気づいて、ブ号船医海軍少佐 JAMESA. HENNESSEY 氏の介添の下で、無事に女兒を分娩して、横山ブレバード嬢と命名した旨も知らされて、心からお礼を述べた。

翌日、飯田棧橋についたこの遭難者たちは、多ぜいの出迎えのもとに、生きて再び上海の土を踏んだ。

この沈没による犠牲者は、第四番艙にいて、触雷の激動で落ちた艙口梁の下で圧死した数名と、甲板にいて海中に、はね飛ばされた二、三名と移乗の際に、海中に落

ちた数名の中でロープで引揚げることの出来なかつた一、二名を含めて、合計二十名を越えていないと私は思っていたが、のちほど正確な調べによると、尊い犠牲者は合計十三名であることが確認された。

この遭難は、終戦後四カ月の被占領下の日本で、軍人ならびに海外在留同胞数百万の復員輸送中に起きた惨事である。

当時の国内の状況の下では、一般からはあまり注意も、ひかれていなかった。私が上海日本総領事館の終戦事務所と、九州福岡海運局ならびに戦時中に引続いて、日本船舶を一元的に管理運営していた船舶運管会に報告した公的の報告書以外は、海難審判も開かれていないことで、記録は外に出ていない。

あの時に、ブ号の来着が一〇分間遅れていても、また移乗が五分間遅れていても、あの結果にはならない。それに夜でなかったこと海上が穏かであったこと、また引揚げの船客たちが戦時中の訓練で、まことに団体行動に慣れていたことである。

そして、何よりもブ号が近くに来て、しかもエリオット船長は、人道愛にあふれて善意を以て果敢の人で、実に優れた操船技術の持ち主であったことが、この好結果をもたらしたものであったと思う。もし、この一つでも欠けると

ころがあつたならば、あの成果は上げることが出来ずまた最悪の場

合は、船客、船員ともに全滅といふ事態となつて、日本の復員輸送史に悲惨な記録の一つを残すことになつたと思われる。

### 江の島丸会の謝恩

それから十七年が過ぎた。

昭和三十八年に、防府市に生まれる当時の船客であった吉本仁さんによって、この謝恩運動の企てが始められた。そして東京方面に、多ぜいいられる遭難者であった人々によって、さらにこの会は拡大された。

梅原保示さんを会長として、江の島丸会が創立されて、エリオット船長にお礼を述べるとともに、日本にお招きすることになった。色々困難はあつたが、広く日本中に散っている会員から百数十万円の浄財が寄せられた。米海軍も援助して下さつて、カリフォルニア州サンディゴ市に引退していられるエリオット船長夫妻を、十月十五日米海軍特別機で秋色たけなわな、日本にお招きすることが出来た。

日本政府はエリオット船長の頭功を確認して、破格の勲三等旭日章を授与するとの発表があつた。同夫妻は、日本滞在二週間は、江の島丸会の賓客として、ぎっしりつまつたスケジュールによって接待された。

山王ホテルにおいて、内外報導記者のインタビューを始めとして、運輸大臣室においての勲章授与式の日比谷公園松本楼における

江の島丸会員の感謝大会。日本工業倶楽部においての、日米協会員の歓迎午餐会につづいて、当時の実情をさらに公開した彼、わが両船長の立会い報告会。東京晴海埠頭に回航した米国第七艦隊旗艦プロビデンス号甲板において、彼の功績に対する米海軍の顕彰牌の授与式、それにつづいての祝賀パーティーには、高松宮御夫妻も出席されて、親しくお言葉を賜わつた。

NHKテレビの『私の秘密』には、江の島丸会役員一同とともに出場して、全国の皆さんにご挨拶した。また皇居に参内して、お礼の記帳ならびに拝観の新宿御苑における観菊パーティーにお招きに預る等、連日夫妻は身に余る光栄に浴した。続いて日光・箱根・京都・奈良への見物に綾なす日本の秋の風物を賞でて、夫妻は予定の旅をおへて、感謝を新にして日本を去つた。

しかしブ号船上において生まれ彼自ら名づけ親となつた横山ブレバート嬢は、生きていれば十八歳の娘盛りである。

エリオット船長も、彼女に会うのを楽しみの一つにしていたので江の島丸会員一同で彼女の、ありかを探したところ残念なことに日本に帰って、三歳のとき病気で亡くなつたと、宮崎県にいられるお母さんより通知があつて、遂にこれ許りは目的をかなえることが出来なかつた。

エリオット  
船長の海軍葬

エリオット氏は一九〇〇年米国  
メリーランド州のアナポリス市に  
生まれた。

一九一七年四月六日、第一次世  
界大戦の際に米国が独乙に対し  
て、戦宣を布告した月日に、彼は  
十七才にして、ノーフォーク近く  
の海軍訓練所に入った。



そして海軍に志願して、第一次  
大戦には、米英両国間の輸送船団  
の乗組員として勤務した。その後  
昇進して一九四七年七月一日彼は  
海軍大尉の時に退役した。

しかし今次の大戦には、再び海  
上勤務をして、駆逐艦または戦艦  
テネシー、巡洋艦ミルウオーキー  
海軍タンカーのラマポー号等の航  
海士として勤務し、軍用船ブレバ  
ード号に乗っていた時は船長をし  
ていた。

色々と功績があったことと思  
うが、江の島丸沈没で、多数の人命  
を救えたことは、その最たるもの  
であろう。

一九二四年八月二十一日、ワシ

ントン州のタコマ市において、カ  
ザリン夫人と結婚した新家庭には  
遂に子供は恵まれなかった。終戦  
後に海上勤務を解かれた彼は、カ  
リフォルニア州のサンディゴ市に  
居を構え、ある会社に気楽な勤め  
をして静かに余生を過していた。

私が、ニューヨーク航路の大島  
丸の船長をしていた時である。ニ  
ューヨークから復航パナマ運河を  
通ってサンディゴ港に寄港したと  
きは、深夜の入港であったが、棧  
橋に夫妻の迎えを受けた。

そのまま彼の車で家を訪れて、  
江の島丸会が組織されて、夫妻に  
謝恩のため日本にお招きすること  
になった話や、また江の島丸の遭  
難から救助の思出話をいろいろ  
と、三人で語り合っていたが、い  
つの間にか東の空が明るくなって  
いた。

あの時「貴船は、どの位い浮い  
ているか」と彼が叫んだ時に、私  
は「一、二時間はもつ」と答えた  
が、もし私が三十分位だと答えて  
いたなら、恐らく彼は、自分の船  
の危険を慮って、あれほど果敢に  
横付けはしてくれなかったであろ  
う。

また私がもし「二、三時間は大  
丈夫だ」と答えていたなら、これ  
また、あれほど迅速に接舷はして  
くれなかったであろうと、たづね  
たのに対して、彼も同じように深  
くうなづいたが、海の男二人の全  
く呼吸の合った兼ね合いであっ  
た。

夫妻は、どちらが愛猫家の張本

人であったか聞きもらしていた  
が、多分二人ともに大の愛猫家だ  
であった。十数匹の猫を、それぞ  
れの箱に入れて坐敷に飼ってい  
た。金の眼、銀の眼の、黒い毛、  
白い毛、金色のペルシャ猫を始め  
として、何びきかの品評会に優賞  
牌をもらったという名猫は、いづ  
れも目を皿のようにして、この深  
夜の珍客を見守っていた。夫人が  
その扉の一つを開いたら、サット  
飛出してじゅうたんのの上を走って  
私の足もとに飛んできた。まさに  
その夜は、猫家敷におけるご接待  
であった。

訪日旅行をすまして、帰った彼  
はますます元気であったが、この  
一、二年は不調のようであった。  
医師の厚い治療投薬も、カザリ  
ン夫人の心をこめての看護も及ば  
ず、この九月十九日彼は、サンデ  
イゴ市の海軍病院で、遂にこの世  
を去った。享年七〇才である。

江の島丸会員の招きで、日本を  
訪れた時の楽しかった思い出は、  
終生語りつづけていたようであ  
る。その後さらに続けられていた  
江の島丸会員との文通および交際  
は、これ等の日本人に対して、深  
い感銘と友情とをさらに深めてい  
た。

米国海軍は、この退役した海軍  
士官に海軍葬の礼をつくした。

九月二十三日午後一時より、サ  
ンディゴ市のジョンソン・サウマ  
・ノーベル礼拝堂で行なわれた葬  
儀は、海軍少佐牧師 RICHARD  
K. DWYER リチャード・K. デ

ューヤー氏の司祭の下に厳粛に行  
なわれて、多数の故人の友人およ  
び関係者が参列した。  
くやみの私の手紙に、CATHIE  
RIZZI カザリン夫人の返信は、愛  
する夫の死をいたむ真情があふれ  
ていた。そして亡夫の意志を抱い  
て、生きてゆく決意が書かれてい  
た。

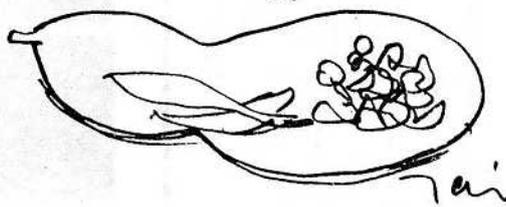
深夜、彼の家で語り明かした翌  
朝に夫妻とともに、三人でドライ  
ブして私も知っているサンディゴ  
港の古い灯台の背後にあって、大  
平洋の北西岸の海を見おろすこと  
の出来るロマ岬のローズクレン軍  
用国営墓地に、九月二十八日午前  
十時より再び海軍牧師デューアー  
氏の司祭の下で、埋葬式が行なわ  
れた。

彼の櫃は、大きな米国旗でおお  
われ、そして儀仗兵の弔銃発射の  
下に、米国海軍から最後の栄与を  
受けていった。  
軍用墓碑の側に、在留邦人が更  
に追憶碑を建てるといふ話もあ  
る。

ともに海の男として、厳しい勤  
務を一生してきた体であるが、私  
も八年前に海上を去って、余生を  
まだ忙そがしく過している。あの  
江の島丸沈没の日である一月二十  
二日の日を、もう今年で二十五回  
も繰り返した。二十五年といえは  
四分の一世紀が過ぎていく。

「貴船は、どの位い浮いている  
か」と叫んだ彼の声は、今も私の  
耳の底に残っている。  
先に逝った彼の冥福を心から祈

る。  
元江の島丸船長「昭和四十六年  
一月二十二日の当月当日江の島丸  
の沈没の日」この稿を書く」  
(完)



卒業以来一度も合っていない者もいるが、あってみたいなあ……と比較的よくあえる連中で話合っていた矢先、ひとつ思い出多い鳥羽でクラス会をやるうじやないかという意見がまとまりました。木学君、石原君、森島君と私が中心となって連絡に当りました。同窓会の総会の前日の六月十九日に鳥羽市小浜の姫島ホテルに集まることになりました。連絡可能な限り手紙や電話で知らせましたが、乗船中ということで船会社に勤務しているクラスメートからの参加は不可能でした。陸上にいるクラスメートのうちでも仕事の都合で参

どを楽しみました。すっかり変わった鳥羽の印象と二週間に一度しか外出できず訓練に訓練と追い廻された昔の思い出がテレビ画像のフェーザレグの様に重っては消えました。昔「ヤッチャン」という美少女がいたことを御存知のクラスメートも多いと思います。切角の機会だからといまはマダムとして活躍されている店までおしよりました。ビールの度が過ぎてホテルへ帰る道を忘れてしまう人も出るなど大変な結果となりました。しかし翌朝「よかったなあ……鳥羽へきて本当によかった」という声が多く幹事として安心した次

### 昭和22年本科卒クラス会

加しいがでできないむね連絡してくれた人もありましたが、全然音沙汰なしの人の多いのも驚きました。

比較的クラスメートに多くあう機会のある私も一度もあえなかつた人の元気な顔を見ると、ふと、二十数年前の苦しい戦争中の学生生活の頃を思い出しました。きたえにきたえられた連中だけあって、体は一倍強いと自慢話ばかり……酒の方も遊びの方もそれまた超一流に成長しております。幹事は大変忙しい限りでした。谷口楠井、山門先生および昔なつかしい山門令夫人をお招きして夜のふけるまで、特別アトラクションな

第です。社長さんばかりのこと。あそこの払いははおれがという人が多くて幹事は大いに助かりました。翌日母校を見、再会を約して散会しました。参加者はN科が、木学、鳥居、雨森、沖田、森島、山尾、須永、都地、加藤(喜)、落合、山本、E科が石原、水谷、伊藤(美)、田中の十五名です。来年またやろうそのときはもっと大勢の参加者をつのろう。そして将来は名古屋、関西、関東地区で持ち廻りでやろうという意見も出ました。

(H・O記)

### 鳥羽に船員保険寮開設さる

永年の願望がかない、本年四月鳥羽市に船員保険の福祉施設として船員保険寮が新設されました。鳥羽市安楽島町うつぼ谷一、二〇〇の三一

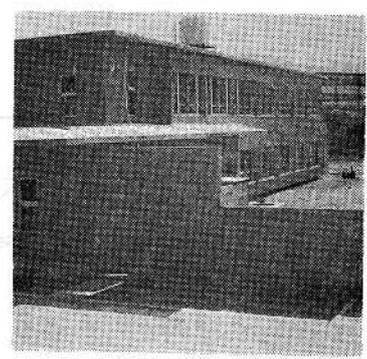
電話 鳥羽〇五九九二一五―三九八七

収容定員 二五名 利用室 八畳一室・六畳一室

建物・鉄筋コンクリート二階建 交通・近鉄鳥羽駅からタクシーで十分

利用料  
被保険者及び老令年金(一泊二食付)または障害年金受給者五五〇円  
被扶養者および遺族年金等の受

給者または各種の年金の加給金対象者 六八〇円  
四才以上十才未満の被扶養者 五三〇円  
実費利用者 一、〇〇〇円



### さむらい会会報

第九回さむらい会は京都の洛北大原街道の中程にある八瀬遊園地で開催した。

従来のさむらい会は往々にして都会の繁華街に会場を求めめる傾向にあったが、今回は趣を変えて京都市郊外の山峡、山紫水明の地に行く秋の自然を訪ねることにしたのである。

十一月二十二日(日)、ホテル鯨乃坊に会場を設定して、参加予定者約十名を待った。午後四時を過ぎる頃、一番乗りは例によって神谷と大沢だ。四時半になると岡島が来た。五時過ぎ東京から一行が和田を団長として久保、松岡、筒井が到着した。この連中が現わ

れると大体騒々しくなるのが通例だ。関西組の親分中川が久しぶりに来てくれた。昨年別府会場では船上から電話で声だけの出席であった鈴木次郎機関長が忽然として姿を現わした。新造船の内部機装を監督中だとのことどうも都合がつけたいらしい。九州探題の塩田からは「福井県永平寺詣でをしたため開会時刻に遅れる」と電話連絡があった。

人数が増えるにつれて一段と活気づいた。ことに今回は和代議士を交えてのクラス会であるだけに話題は極めて豊富であった。政治、経済、教育、国際問題を論じさらに母校鳥羽商船の発展策から鳥羽観光都市開発論にまで発展し、さながら国会討論会の様子を呈しわがさむらい会はいやが上にもレベルアップした。

八時近くになって塩田が夫人同伴で到着した。ご夫人は今様九条武子をしるばせるようなお方だ。博多美人の典型であるうか、教養豊かにしてしかも艶麗、風情正に貞淑の感あり、わがさむらい会の品位はようやくここに至って定まる。

銚子がならば盃の往来が盛んとなり、ポイント町の芸妓が舞い出すと雰囲気はガラリと変わってさすがの無骨男たちの気心は平安朝の昔に返ったようだ。詩情ますますわき吟唱自ら熱を帯びて声は夜の比較に達するかのようであった。

翌二十三日(月)、勤労感謝の日)は一行十二名は三台のタクシーに分乗して鞍馬山麓の鞍馬寺に参詣した。ここは天台宗の寺で、

加しいがでできないむね連絡してくれた人もありましたが、全然音沙汰なしの人の多いのも驚きました。

第九回さむらい会は京都の洛北大原街道の中程にある八瀬遊園地で開催した。

従来のさむらい会は往々にして都会の繁華街に会場を求めめる傾向にあったが、今回は趣を変えて京都市郊外の山峡、山紫水明の地に行く秋の自然を訪ねることにしたのである。

人数が増えるにつれて一段と活気づいた。ことに今回は和代議士を交えてのクラス会であるだけに話題は極めて豊富であった。政治、経済、教育、国際問題を論じさらに母校鳥羽商船の発展策から鳥羽観光都市開発論にまで発展し、さながら国会討論会の様子を呈しわがさむらい会はいやが上にもレベルアップした。

山門を入り石段を上りケープブルに乗り、さらに山道を登って奥の院魔王堂にお参りした。  
牛若丸義経が幼少の頃この寺に預けられ、天狗に武術の伝授をう

けたところと伝えられているが、なるほど山は高く深山幽谷であり神秘に包まれとも京都市左京区の一部であるとは思われない。都会のスムッグと騒音の中に生きて

いるわれわれは久方ぶりに新鮮な山気を呼吸し、原生林の冷氣と宗教的神秘性に触れることができわがさむらい会は第二日もまた有意義な行楽であった。

午後一時、京都駅に戻り昼食を共にし、明年度さむらい会を名古屋市在任の渡辺君にお願いすることに衆議一決、補佐役を神谷君に依頼して解散となった。各位の健

闘を祈る。  
昭和四十六年二月二十三日  
(橋本・大沢記)

### 鳥羽商船同窓会会則

#### 第一章 総 則

第一条 本会は鳥羽商船同窓会と称し、本部を鳥羽商船高等専門学校内に置く。また神戸・東京・名古屋・四日市・大阪・函館に支部を置き、その他理事会の議を経て必要な地に支部を置くことができる。

第二条 本会は鳥羽商船学校・鳥羽商船高等学校並びに鳥羽商船高等専門学校出身者を以て組織する。

第三条 本会は次の目的を以て必要な事業を行なう。

- 1 会員相互の親睦並びに人格の向上を図る。
- 2 常に母校と同窓会員の連絡を密にし、母校の繁栄を図り引いては吾国海運の発展に寄与する。

#### 第二章 会 員

第四条 会員を次の如く定める。  
1 正会員母校を卒業した者。  
2 名誉会員特別な功労あり理事会の議を経て推薦された者。

- 3 特別会員母校を中退した者で理事会の議を経て推薦された者。
- 4 準会員在校生。

5 賛助会員母校在職の現職員。  
第五条 会員は次の事由に依り資格を失う。

- 1 死亡
- 2 除名 著しく会員の名誉並びに利益を毀損すべき言動ありと認め理事会において除名が決議された者。

#### 第三章 機 関

第六条 本会に次の役員を置く。

- 1 会長一名
- 2 副会長三名以内
- 3 理事三十名以内 とし、理事以外の者が支部長に選出された場合は、その者は理事となるものとする。
- 4 会計監査一名
- 5 理事会の議を経て顧問または相談役若干名を置くことができる。

#### 第七条 役員 の 職 務

- 1 会長 本会を代表し、会務を統轄する。
- 2 副会長 会長を補佐し、会長事故ある場合は会務を代行する。
- 3 理事 会の主要事項を審議遂行する。
- 4 会計監査 会の会計監査を行なう。

第八条 本会役員 の 選 出 について

は次の通り行なう。

- 1 会長 理事の互選
- 2 副会長 理事の互選
- 3 理事 会員の互選
- 4 会計監査 理事の中から会長が指名する。

第九条 役員 の 任 期 は 二 年 と し 再選を妨げない。

#### 第四章 理 事 会

第十条 理事会は会長が必要と認められた場合、これを招集する。

第十一条 理事会は他の条項に規定あるものの外、次の事項を審議決定する。

- 1 経費の予算並びに決算に関すること。
- 2 本会の維持運営に関すること。
- 3 事業の企画実施に関すること。
- 4 財産の保管に関すること。
- 5 総会において委任を受けた事項及び総会を招集する暇なく早急に実施を要する事項。

#### 第五章 総 会

第十二条 総会は定期総会と臨時総会とする。

- 1 定期総会は毎年一回(適当な時期)会長これを招集する。
- 2 その他理事会において必要

と認めた時、臨時総会を招集することができる。なお全会員の十分の一以上が会議の目的を示し要求ある場合、一カ月以内に臨時総会を招集しなければならぬ。

第十三条 総会は正会員の出席総数三十名以上たることを要し、決議権の行使は他の出席正会員に委任することができる。

第十四条 総会の決議は賛否過半数を以て決定する。同数の場合は議長が採決する。

第十五条 財産の処分、その他重要な事項を附議する場合は少なくとも出席者の三分の二以上の同意を要する。

第十六条 総会の議長は会長がこれに当り、会長事故ある場合は副会長がこれに代る。

第十七条 総会においては次の書類を提示し、承認を求めること。

- 1 財産目録
- 2 収支決算報告書
- 3 会務報告

#### 第六章 会 計

第十九条 本会の維持運営は入金、会費及び寄付金を以てこれに当てる。

1 入会金 金額は別に定める。

2 会費 金額は別に定める。  
第二十条 入会金・会費並びに寄付金は一般会計とし、その保管については理事会の議を経て安

全確実な金融機関へ預金する。  
第二十一条 経費の支出に当っては理事会の承認を得るものとする。

第二十二条 会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとし決算を行なうこと。

#### 附 則

第一条 本会則の改正は総会の決議を要する。  
第二条 本会会務処理に必要な規定は理事会の議を経て会長これを定める。

第三条 本会則は昭和四十年六月十三日より実施する。(昭和四十四年十月会則一部改正)

入会金及び会費  
附則第二条により決定された入会金及び会費は現在次の通りである。

- 1 入会金 五百円
- 2 会費 年額一千円
- 3 終身会費 五千元(満五十五才以上で会費を完納しているもの)